

インテリジェンスをもつこととは

下記の参考文献の知識をふまえて言えば、次のことを指します。

このページは <http://dten-wisdom.jp/00001-intelligence.pdf> でダウンロードできます。

- ① 意思を持つこと (=下記の PMD を持つこと)
- ② 意思を実現するために必要な知識を持つこと (下記の参文書 3 に説明している)
- ③ 意思を実現する手順を創りだし、それ従い、意思の結果を実現する  
意思を実現する手順は、ステップリストの方法を持てばよい  
ステップリストの方法の知識は下記の知識から知恵を創り出す方法に書いてあります。  
の能力を指します。

参考文書

#### 1. PMD の方法

(意思の方法、その上位目的、メインキーワード (目標レベル=上位目的の結果、エントランスキーワードの把握をする方法)

カタログ <http://dten-wisdom.jp/00001-R3.pdf>

これで意思を持つことができます。

#### 2. 知識から知恵を創り出す方法

意思がありさえすれば、知識から知恵を創り出すことができるようになる

この原理は、上記の本に書いてあります。

日本語版 カタログ <http://dten-wisdom.jp/00001-R3.pdf>

英語版 からログ (英語版の方が、コラム 3 以降、50 頁ほど、詳しい解説が追加されています)

<http://dten-wisdom.jp/00001-R3E1.pdf>

#### 3. 知識を持つこととは、

- ① 因果関係とももの存在 (その構造構成までを含む) の情報を持つこと
- ② 分析をすると言うことは、知識を得るため、何をしさえすれば分析をしたことになるかの下記の世界で初めての文献 (WEB 上の文献として URL と共に引用していただければよろしい)

<http://dten-wisdom.jp/J-personal%20use/2010-1-27columnJ.pdf>

いずれは、発表論文にするか本にします。(上記はそれまでの、臨時対処です)

4. なおこの方法の母体になった方法は下記の新プロジェクト管理の方法により WEB 上、公開されています。

この中には、差の情報による意思決定・判断のメカニズムも入っています。

日本語版 <http://dten-wisdom.jp/J-pdf%20entrance.html> 700 頁くらい

英語版 <http://dten-wisdom.jp/E-pdf%20entrance.html> 960 頁

5. 更にこの話には性差がありますのでそれを、纏めた論文は、下記に記載をしています。

<http://dten-wisdom.jp/J-explanations/J-kubino-furikata-seisa.pdf>

<http://dten-wisdom.jp/J-explanations/J-dannjo-no-niitial-mode.pdf>

6. もっと更に進展をさせるならば、プロジェクトマネジメント(PM)とシステムエンジニアリング(SE)の専門家向けの本ですが、下記の本が新しい地平線を開きます。

<http://dten-wisdom.jp/00001-PMSE.pdf>

